

『大樽川総合内水対策』のフォローアップ会合開く！
豊田市内で3機関が取り組み報告

国土交通省木曽川上流河川事務所は2月17日（月）、国、岐阜県、^{わのうちょう}輪之内町で組織する「大樽川総合内水対策協議会」を豊田市内で開催。2年前に策定した、「大樽川総合内水対策計画」に位置付けた具体的な浸水対策メニューについて各機関の取り組み状況を確認し、今後の進め方等について意見交換を行いました。

輪之内町からは、木野町長ら幹部が出席。木野町長は「今年3月に福束排水機場のポンプ増設が完成する。より高度な地域の安全・安心のためにあらゆる観点で考えられるメニューを想定し、今後も継続的に議論していきたい」と挨拶。木曽川上流河川事務所・浅野事務所長は、「内水被害の最小化に向けて、ハザードマップのデータ、シミュレーションシステムについて、今後も国として技術的支援をしていきたい」と認識を示しました。会議後、メンバー一行は、矢作川において国・豊田市が連携整備をした豊田河川防災ステーションの施設を見学した他、安城市が整備を進める「水田貯留（雨水流出抑制施設）」を見学し、市民協働型の内水対策について学びました。



協議会の開催状況（豊田河川防災ステーション：豊田市内）



現地見学会の様子（水田貯留：安城市内）

●『水田貯留』の方式 ～いつもより『もう少しだけ余分に』貯める～

水田貯留には、①水路流量調整方式と②排水マス流量調整方式があります。どちらの方式も、水田にいつもより『もう少しだけ余分に』雨水を貯めることができます。

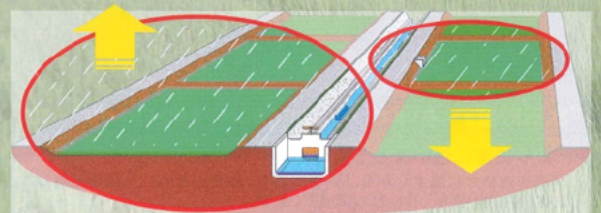
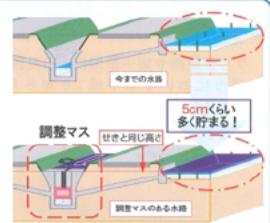
「たくさんの水田で、同時に」雨水を貯める ①水路流量調整方式

◆水路の流量を調整できるマスを設置します。

・下流に流れる量を少なくすることで、一時的に水田と水路に雨水を貯めます。



※転作時は作物に影響を与えないように、ゲートを全開にします。



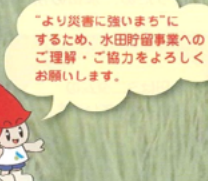
「ひとつひとつの水田で」雨水を貯める ②排水マス流量調整方式

・一筆排水マスに、少し切り欠けたせき板を設置します。

せき板（赤枠が切り欠け）

・せき板の高さだけ、いつもよりもう少しだけ余分に雨水を貯めることができます。

※過剰は、切り欠けから溢れ出します。



TEL 0566-71-2239 FAX 0566-77-0010 E-mail doboku@city.anjo.aichi.jp

安城市 建設部 土木課

ホームページ

安城市 水田貯留

検索